

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和02年01月07日

計画の名称	第四次田原本町における快適で活力ある暮らしの実現														
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	田原本町														
計画の目標	・地域特性、人口減少等の社会情勢の変化を考慮し、効率的かつ適正な処理区域の設定及び整備運営手法の選定を行い、計画的に下水道整備を進める。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		941	A	941	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		95	96	98
1	・下水道処理人口普及率を95%（平成30年度末）から99%（令和6年度末）に増加。 下水道処理人口普及率（%） ＝下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	95%	97%	99%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	田原本町	直接	田原本町	管渠（ 污水）	新設	寺川第 9 処理区（未普及 対策）	污水管φ250・φ200mm L=0, 20km	田原本町				■	■	51		－
	A07-002	下水道	一般	田原本町	直接	田原本町	管渠（ 污水）	新設	寺川第 1 0 処理区（未普及 対策）	污水管φ250・φ200mm L=0, 13km	田原本町		■	■			28		－
	A07-003	下水道	一般	田原本町	直接	田原本町	管渠（ 污水）	新設	寺川第 1 1 処理区（未普及 対策）	污水管φ250・φ200mm L=0, 62km	田原本町		■	■			152		－
	A07-004	下水道	一般	田原本町	直接	田原本町	管渠（ 污水）	新設	寺川第 1 4 処理区（未普及 対策）	污水管φ250・φ200mm l=0, 16km	田原本町				■	■	110		－
	A07-005	下水道	一般	田原本町	直接	田原本町	管渠（ 污水）	新設	寺川第 1 8 処理区（未普及 対策）	污水管φ250・φ200mm l=0, 95km	田原本町	■	■	■			235		－
A07-006	下水道	一般	田原本町	直接	田原本町	管渠（ 污水）	新設	寺川第 2 1 処理区（未普及 対策）	污水管φ250・φ200mm L=0, 12km	田原本町				■	■	40		－	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-007	下水道	一般	田原本町	直接	田原本町	管渠（ 污水）	新設	寺川第 2 2 処理区（未普 及対策）	污水管φ250・φ200mm L=0. 33km	田原本町				■	■	83		－	
	A07-008	下水道	一般	田原本町	直接	田原本町	管渠（ 污水）	新設	三宅第 2 処理区（未普及 対策）	污水管φ250・φ200mm L=0. 89km	田原本町	■						60		－
	A07-009	下水道	一般	田原本町	直接	田原本町	管渠（ 污水）	新設	大和川第 1 3 処理区（未 普及対策）	污水管φ250・φ200mm L=0. 72km	田原本町		■	■	■	■		182		－
												小計						941		
											合計						941			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	28	10	5	12	
計画別流用増△減額 (b)	△2	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	26	10	5	12	
前年度からの繰越額 (d)	0	4	0	0	
支払済額 (e)	22	14	5	6	
翌年度繰越額 (f)	4	0	0	6	
うち未契約繰越額(g)	4	0	0	6	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	15.38	0	0	50	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	輻輳する道路工事との日程調整のため			地元調整に想定外の時間を要したため	

事前評価チェックシート

計画の名称： 第四次田原本町における快適で活力ある暮らしの実現

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との整合性 1) 都道府県構想と適合している。	
I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との整合性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性） 1) 地域の課題を踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性 1) 定量的指標は計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性 2) 定量的指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性 1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 定量的指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性 1) 十分な事業効果が確認・期待されている。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 1) 計画に具体性があり、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 2) 計画について住民や関係機関等の間で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性	
②地元の機運（住民、民間等の活動、関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） 1) 住民等からの事業実施の要望がある。	○